

中高生がVR 職業体験



▲VRを体験する生徒

麗澤瑞浪中学・高等学校（岐阜県瑞浪市）は10月22日、「VRで対人援助職の専門職体験学習会」を実施した。文部科学省の「専修学校における先端技術利活用実証研究」事業を委託する学校法人敬心学園の職業教育研究開発センター（東京都新宿区）が開発したプログラムを活用。

中学3年生と高校2年生までの希望者16名が参加。グループワークを通して医療・介護・福祉職などの「対人援助職」について理解した上で、VRを体験した。映像は、介護福祉士や理学療法士からケアを受けるものなど。普段は触れることのできない職場体験をする機会とした。

入試広報チームの中西純也氏は「生徒からは、現実の世界で体験している感覚で仕事の様子を知ることができた。進路決定に役立った」と感想があがった」と話す。